

令和7年度第3回伊勢市総合計画審議会 議事要録

◆日時 令和7年12月2日（火）18:30～20:00

◆会場 伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3、5-4会議室

◆出席委員

下野功純委員、藤本美保子委員、伊坂弘子委員、竹澤尚美委員、鈴木まき委員、森口留美子委員、河井英利委員、村田典子委員、村田久実委員、伊藤良栄委員、藤原寛仁委員、板井正斎委員、林孝昭委員

◆欠席委員

山本政善委員、西村幸泰委員

◆出席職員

情報戦略局（情報戦略局長、情報戦略局参事、企画調整課長、同企画調整係長、同主査、同職員）

環境生活部（環境生活部長、環境生活部参事）、教育委員会事務局（事務部長）

健康福祉部（健康福祉部長）、危機管理部（危機管理課長）

産業観光部（産業観光部長）、都市整備部（都市整備部長）

総務部（総務部長）、上下水道部（上下水道部長）、消防本部（消防長）

◆議事概要

1 第3次伊勢市総合計画・後期基本計画（案）について

（1）分野別計画（案）について

・【資料1・2】分野別計画（案）の修正内容について

«意見・質問など»

・分野1「自治・人権・文化」の施策4「国際交流・多文化共生」において、修正前の「安心して暮らせるよう」という表現は残した方が良いのではないか。

・分野1「自治・人権・文化」の施策4「国際交流・多文化共生」において、日本人と外国人の双方が共生に向けて取り組むという表現にしてはどうか。

→「取組の方向性」は箇条書きで整理しており、市民が共生の意識を高める取組と、在住外国人が地域を理解する取組について、文章を分けて表現している。

・分野4「医療・健康・福祉」の施策1「医療・健康」にある「公的病院」が何を指しているのか分かりにくいので再調整を。

・分野5「防災・防犯・消防」の施策3「消防・救急」において、追加した目標指標「消防団員訓練等参加人数」は、これまでの実績値に対して目標値が下がっており、目標指標として適切でない。

→団員は休日に訓練参加してもらっており、訓練を増やしても参加者数は増えない見込みであるが、訓練内容は適宜更新していく。指標は再検討したい。

・分野6「産業・経済」の施策4「雇用・就労」の目標指標「ボランティア体験受入の登録団体数」について、社会参加の第一歩であるボランティア体験が「雇用・就労」に位置付けられていることに違和感がある。

→最終的に就労につながることを目標として取り組んでいることから「雇用・就労」に位置付けているが、再検討する。

(2) 重点戦略（案）について

●重点戦略1

- ・「施策2 教育環境の充実」について、先日開催された「公園からはじまるみんなの共生社会シンポジウム」のように、子どものころから共生社会について学ぶことが大切であり、福祉教育にかかる指標の追加を。
→キッズサポーター制度や夏休みの福祉体験などの取り組みを行っており、指標の追加が可能か検討したい。
- ・「施策2 教育環境の充実」のスポーツについて、重点戦略3の施策2に運動習慣の目標指標があり、子どものときの運動だけでなく、生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康づくりにつなげるという観点でまとめるのも1つではないか。
- ・「施策2 教育環境の充実」のスポーツについて、教育分野だけでなく、社会体育の充実も大切であり、ライフステージに応じた幅広い取り組みを。

●重点戦略2

- ・「施策2 観光による賑わいづくり」について、市民・事業者から観光エリアにおけるゴミ問題の声が多くあり、受入環境の整備に位置付けて取り組みを進めてほしい。指標についても検討を。
- ・「施策2 観光による賑わいづくり」について、令和6年の神宮外国人参拝者数が過去最高の11万人となっており、インバウンドに関する指標の検討を。

●重点戦略3

- ・「施策2 誰一人取り残さない福祉」などは、同じ分野内での取り組みであり、分野横断となっておらず、分野別計画との違いが分かりにくい。防災の観点の福祉避難所、在住外国人の共生社会の実現なども含めるとよいのでは。
→健康とスポーツ、観光とゴミ問題のように、他分野と関連するものについても、まずは分野別計画で整理したうえで、重点戦略は人口対策として、住みやすいまちという観点で整理しているが、「主な関連施策」の表示として、他の関連もないかもう少し整理したい。
- ・「施策4 生活を支える基盤整備」について、目標指標となっている道路・公園・橋の改良・長寿命化などの目標値は、多額の予算が必要な事業であることから、大きな伸びが見込めないのはやむを得ないが、夢を語れないのはもどかしい。